



# 大砂土中だより

はつ らつ

## 澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.7 令和7年11月4日号

## 頑張る姿

校長 倉林 弥生

11月に入り、朝夕の気温はめっきりと下がり、少しずつ冬の足音が聞こえてくるようになりました。今年もあと2か月ほどで終わりだと思えば月日の流れの速さに驚くばかりです。

10月を振り返ると、新人体育大会、市駅伝競走大会、そして合唱コンクールなどの大きな行事がありました。そこでは、普段の学校生活で授業を受けている時の皆さんとは違った様々な姿を改めて見ることができました。

9月の下旬から始まった新人体育大会は、1、2年生の初の公式戦であり、どの部活動もたいへん健闘しました。

団体戦では、男子バレーボール部が2位、男子バスケットボール部が5位、女子卓球部が7位となり、県大会出場を決めました。また、個人戦でも水泳部や陸上部をはじめ、たくさんの方がすばらしい成績を残しました。特に、JOCジュニアオリンピック第56回U16陸上競技大会の女子棒高跳に出場した1年生の伊藤来莉さんは、今大会で3m40と自己新記録を更新し、8位入賞となりました。

悔しい思いをした人もいるとは思いますが、今後の皆さんの活躍に大いに期待ができる結果であったと思います。この後、県大会に出場する人は、市の代表としてベストを尽くしてください。

10月21日には冷たい風が吹く中、第25回市駅伝競走大会が荒川総合運動公園にて行われました。本校からも26名の生徒が自ら名乗りを上げ、練習に励んでいました。

当日は、代表選手が大砂土中の名を背負いながら、一心に駆け抜けていきました。走り終えた選手からは全力を出し切った者の清々しい表情がうかがえました。自分の結果に満足できなかった生徒もいたと思いますが、その頑張りとして当日選手として出場できなかった生徒の頑張りをたたえたいと思います。特に、受験勉強に集中したい時期なのに立候補した6名の3年生へ、先輩として勇ましい姿を見せてくれたことに感謝します。

この頑張りや、きっと進路決定の際にも大きな力となるはずです。

そして10月28日、今年度はレイボックホールにて合唱コンクールが開催されました。1年生の身を奮い立たせながらの元気な歌声に癒され、2年生の少し大人の歌声に近づいた4つのパートの調和に鳥肌が立ち、最後に3年生の完成した大人の歌声に涙が浮かんできました。心が一つになった歌声は、言葉以上に人を感動させます。今年度も皆さんの「心のハーモニー」に感動をもらいました。ありがとうございました。

真面目に一生懸命に取り組む姿を軽く見たり、失敗を笑ったりする人たちが少なからず存在します。そのような行為をととても残念に思います。それでも真剣に試合に挑む、襷（たすき）を片手にひた向きに走る、心を込めて合唱する、そんな何かに無心で頑張る姿は、本当にすばらしいと思います。これからも一心不乱に頑張る姿をたくさん見せてください。



10月下旬のある日の秋空 本校校庭より